

項目	内容
名称	ディル、イノンド、ジラシ、ヒメウイキョウ [英]Dill [学名]Anethum graveolens L.
概要	ディルは、南ヨーロッパ、中央アジア、南アジア原産の芳香性の一年草で、現在では世界中で栽培される。高さ60~90 cmで、8月に黄色い多数の花を付ける。葉はハーブとして魚料理に好んで使用される。種子は生薬名“蒔蘿子”。ヒメウイキョウと呼ばれる植物にはCarum carvi L. (キャラウェイ) とAnethum graveolens (ディル、イノンド、ジラ) があるが、ここではAnethum graveolensについて扱う。
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒメウイキョウ (イノンド/キャラウェイ/ジラシ) 果実、種子：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト ディル (イノンド) が収載されている。 <p>■海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・種子には、揮発油 (カルボンなど) 約5%、フラボノイド、リモネン、クマリン、キサントン、トリテルペノイドが含まれる (29) (33) (PMID:12797755)。 ・種子のメタノール抽出物には、モノテルペン、配糖体などが含まれる (PMID:11963998)。 ・葉にはカロテノイド(PMID:20443063)、9-ヒドロキシピペリトン-β-D-グルコピラノシド (PMID:11052739)、セレン (PMID:18970840) が、葉の精油にはアネトフラン、カルボン (PMID:1438594) が含まれる。
分析法	-

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	メタ分析 ・2015年3月までを対象に8つのデータベースで検索できた無作為化比較試験27報について検討したメタ分析において、ディル(1報)、ウイキョウ(1報)、コロハ(1報)、ショウガ(3報)、グアバ(1報)、バレリアン(1報)、カミツレ(1報)、シナモン(1報)などのハーブの月経困難症の痛みに対する効果は、報告数が少なく試験の質が低いため、結論づけることができなかった (PMID:27000311)。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

ヒトでの評価

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(23) 天然食品・薬品・化粧品的事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ
(58) The Complete German Commission E Monographs
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
(75) エビデンスに基づくハーブ&サプリメント事典 南江堂
[\(PMID:12797755\) J Agric Food Chem. 2003 Jun 18;51\(13\):3854-7.](#)
[\(PMID:11963998\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 2002 Apr;50\(4\):501-7.](#)
[\(PMID:20443063\) Plant Foods Hum Nutr. 2010 Jun;65\(2\):164-9.](#)
[\(PMID:11052739\) J Agric Food Chem. 2000 Oct;48\(10\):4821-5.](#)
[\(PMID:1438594\) Planta Med. 1992 Aug;58\(4\):338-41.](#)
[\(PMID:18970840\) Talanta. 2006 Nov 15;70\(4\):784-90.](#)
[\(PMID:11313115\) Food Chem Toxicol. 2001 May;39\(5\):485-92.](#)
[\(PMID:12868972\) Contact Dermatitis. 2003 May;48\(5\):275.](#)
[\(PMID:26281312\) Turk J Med Sci. 2015;45\(3\):496-506.](#)
(2007119508) 日本皮膚科学会雑誌. 2006;116(13):2212-7.
[\(PMID:27000311\) Cochrane Database Syst Rev. 2016 Mar 22;3:CD002124.](#)